

令和4年度行政事業レビューシート (総務省)

事業名	インターネットトラフィック流通効率化等促進事業			担当部局庁	総合通信基盤局電気通信事業部	作成責任者			
事業開始年度	令和3年度	事業終了 (予定)年度	令和4年度	担当課室	データ通信課	課長 西潟 暢央			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	総務省設置法第4条第1項第59号及び第60号			関係する 計画、通知等	デジタル田園都市国家構想基本方針(令和4年6月7日閣議決定)				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「新たな日常」等を背景に、一層急増する通信データ(トラフィック)の混雑緩和、東京圏での大規模災害発生時の全国的通信途絶リスク回避、地域格差のないインターネットの品質確保等のための対策等を推進する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「新たな日常」等を背景に、一層急増する通信データ(トラフィック)の混雑緩和、東京圏での大規模災害発生時の全国的通信途絶リスク回避、地域格差のないインターネットの品質確保等のため、データ(トラフィック)集約拠点の地域分散や、事業者等の連携による対策等を推進する。具体的には、①トラフィック集約拠点の地域への分散によるネットワーク効率化、②トラフィック発生予測の活用によるネットワーク負荷の分散、③固定ブロードバンドの品質測定手法の確立による競争環境適正化等を実施する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	2	-		
		補正予算	-	-	799				
		前年度から繰越し	-	-	-	799			
		翌年度へ繰越し	-	-	▲ 799				
		予備費等	-	-	-	-			
	計		0	0	0	801	0		
	執行額		0	0	0				
執行率 (%)		-	-	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		-	-	-					
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由				
	諸謝金		0.8	-					
	職員旅費		0.5	-					
	委員等旅費		0.3	-					
	情報通信技術 研究開発調査費		0	-					
	計		2	-					
活動内容 (アクティビティ)	既存の地域IXに、地域のISP等が新規に接続することで、地域IX経由での通信によるトラフィック流通の効率化を図る。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	トラフィックの地方分散による 地方のネットワークトラフィック 量の増加	トラフィック分散の実証実験 実施箇所数	活動実績	箇所	-	-	-		-
			当初見込み	箇所	-	-	-	2	-
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	執行額/トラフィック分散の実証実験実施箇所数	単位当たり コスト	百万円	-	-	-	200		
		計算式	百万円/ 箇所	-	-	-	400/2		
定量的な 成果目 標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績					
	トラフィック分散に関する実証実験については、既存の地域IXに地域のISPが接続することによる、トラフィックの地方分散を目的とするため。			トラフィックの地方分散を進めることにより、東京圏での大規模災害発生時の全国的通信途絶リスク回避、地域格差のない通信環境を目指す。					

事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	実績	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	
				年度	4	年度				
トラフィックの地方分散による地方のネットワークトラフィック量の増加	地域の集約ISP事業者のキャッシュサーバ向けトラフィックの当該ISP事業者の総トラフィックに対する比率(事業前後の増加分)		実績	%	-	-	-	-		
			目標値	%	-	-	-	-	10	
			達成度	%	-	-	-	-		
活動内容(アクティビティ)	コンテンツ事業者及び通信事業者にトラフィック予測に関する実証実験に参加を求め、その後のトラフィック予測システムの活用に繋げる。									
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標	活動実績	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	トラフィック予測の活用へ協力する通信事業者数	トラフィック予測実証に参加するコンテンツ事業者および通信事業者数		社	-	-	-		-	
				当初見込み	社	-	-	-	10	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額/実証参加事業者数		単位当たりコスト	百万円	-	-	-	20		
			計算式	百万円/社	-	-	-	200/10		
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績						
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標			トラフィック予測に関する実証実験については、トラフィック予測システムの利活用を目的とするため。トラフィック予測においては、本実証事業の成果及び通信事業者のシステムの活用を通じて、ピークトラフィックへの対処、ネットワーク負荷の分散に貢献する。						
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	実績	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	
				年度	4	年度				
	トラフィック予測の活用へ協力する通信事業者数			社	-	-	-	-		
目標値			社	-	-	-	-	10		
活動内容(アクティビティ)	大手通信事業者を品質測定手法の検証における対象とし、固定ブロードバンドサービスの品質測定手法の確立に向けて手法の精緻化を図る。									
	活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標	活動実績	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
		固定ブロードバンド品質測定手法の検証	測定対象とするモニタユーザ数		人	-	-	-		-
当初見込み					人	-	-	-	500	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額/モニタユーザ数		単位当たりコスト	万円	-	-	-	39.8		
			計算式	万円/人	-	-	-	19900/500		
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績						
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標			固定ブロードバンドの品質測定手法の検証については、測定手法の精緻化が主目的であるため。固定ブロードバンド品質測定手法においては、本実証事業の成果や有識者からなる検討会の検討を踏まえて、公正、中立的かつ効率的な品質測定手法の確立を目指す。						
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	実績	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	
				年度	4	年度				
	固定ブロードバンド品質測定手法の検証	測定対象とする通信事業者数		社	-	-	-	-		
目標値			社	-	-	-	-	5		
		達成度	%	-	-	-	-	-		

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	V. 情報通信 (ICT政策)		
	政策評価	施策	V-2 情報通信技術高度利活用の推進	政策評価書 URL	https://www.soumu.go.jp/main_content/000766418.pdf
				該当箇所	-
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	取組事項	分野:	-	-
(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:			-	-	-
該当箇所			-	-	-
事業所管部局による点検・改善					
			項 目	評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性			事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、我が国のインターネットの効率化及び安定的なサービス提供を目的としたものであり、広く国民の利益になる。
			地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	インターネットは、その発祥の歴史的経緯から、民間によるサービス提供を前提に発展を遂げてきたものである。東京・大阪等の都市部に著しく依存するという我が国のインターネットの脆弱性は、経済合理性の結果によって生じている。民間に任せたままでは、このボトルネックを解消することは困難であり、国が実施する必要がある。
			政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	令和4年6月7日に閣議決定された「デジタル田園都市国家構想基本方針」において、データセンター及び海底ケーブルと一体的に地方分散を図るべきインターネット接続点 (IX) についても、地方における整備を促進する旨の記載がなされており、優先度の高い事業である。
事業の効率性			競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
			一般競争契約、指名競争契約又は随意契約 (企画競争) による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
			競争性のない随意契約となったものはないか。		
			受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
			単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
			資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
			費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
		繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	関係者との調整を行った結果、関係事業者の協力体制の構築・調整に想定以上の時間を要すること、また契約後における回線設備の調達を含む環境構築についても、想定を大きく超える期間が必要であることが判明し、事業全体を見直す必要が生じたことにより、計画変更を実施した。	
		その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性			成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
			事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
			活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
			整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業			関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
点検・改善結果	点検結果	-			
	改善の方向性	-			

外部有識者の所見

活動内容ごとに適切な目標が設定されていると評価される。(長期的には、目標として地方のネットワークトラフィック量の増加量や、地方/都市比率などを設定することが考えられる)

行政事業レビュー推進チームの所見

終了予定

令和4年度をもって事業終了。更なる経費の効率化を図り、適正な予算執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り

所見を踏まえ、適正な予算執行に努める。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

令和3年度 2021 総務 新22 0005

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

